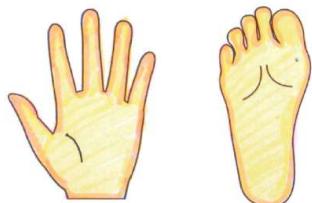


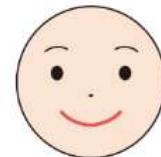
手足症候群の予防と対処

■手足の状態をチェックして、適切に対処しましょう

軽症：保湿ケアを継続してください

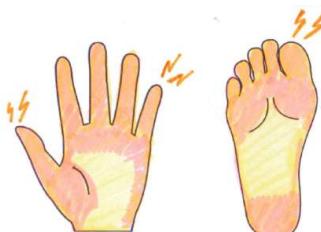


- てのひら、あしのうらが赤みを帯びている
- ガサガサする、乾燥している
- 腫れぼったい、熱っぽい 日常生活に支障ない

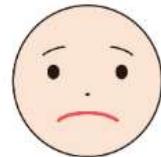


中等症：服用継続のまま、炎症を抑える外用剤等を使用してください。

症状が改善しない場合は、医療機関に連絡してください



- 赤みが更に強くなり、チクチク、ピリピリとした軽度の痛み
- 指先がひび割れる、指の関節がひび割れる



日常生活に何らかの支障がある

重症：服用を中止し、すぐに医療機関に連絡してください



- みずぶくれ、深い亀裂、出血
- ジンジン、ビリビリとした強い痛み
- 痛みで歩けない



日常生活が行えない

■症状の予防、軽減のため、保湿ケアを行いましょう



軟膏は、人差し指の第一関節までが両手を塗る量の1回分となります。



まずは手全体に広げるように伸ばしていきましょう。



次に、手足症候群の出やすい指先、関節、爪の間、手の平のしわの部分を丁寧に塗りこんでいきましょう。忘れずに両足にも塗りましょう。

■手足の症状以外にも、注意が必要な副作用があります。 以下のような症状が現れたら病院に連絡しましょう。

- ① 38℃以上の発熱
- ① 激しい下痢（通常より1日に4回以上多い）
- ① 吐き気・口内炎で食事ができない